

愛媛県NPO法人活動助成事業申込書

ふりがな 団体名	とくていひえいりかつどうほうじん ふうしすてむ 特定非営利活動法人 ふうしすてむ		
ふりがな 代表者 職氏名	理事長	かわさき としひろ 川崎 壽洋	設立年月日 2000年12月19日
事務所 所在地	住所： TEL： FAX： HPアドレス： http://www.busystem.jp/		
担当者の 連絡先	*通常、連絡がとれる携帯番号やメールアドレスを記載してください。 (〒) ※住所は事務所所在地と異なる場合にご記入ください。 住所： TEL： FAX： 担当者名： Eメールアドレス：		
職員の状況	常勤職員	6人	団体の正会員数 65人
	その他職員	0人	
団体の活動 内 容	(主たる活動分野) <u>保健、医療又は福祉の増進を図る活動</u> 障害者のパソコンを使った生活と就労の支援。 障害者就労継続支援A型事業 ボランティア事業、パソコンなんでも相談など (これまでの活動内容の実績・成果) 県下で障害者就労向けパソコン講習会 発達障害児者に対してのパソコンを使った支援。 月1回、パソコンなんでも相談室の開催。 (先駆的な取組みを行っていただければ、具体的にご記入ください。) 障害者共同受注窓口の運営責任団体。 えひめICTチャレンジド事業組合 障害者のパソコンを使った在宅就業		
会報誌の有無	有	ホームページの有無	有
ホームページ有の場合、 そのアドレス	http://www.busystem.jp/		
直近の収支決算	経常収入額	49,819,937円	
	経常支出額	46,466,197円	
	収支差額	3,353,740円	
	繰越金	14,258,296円	

※ 団体が作成している広報誌・会報誌等を添付してください。
(作成していない場合は添付不要です。)

(別紙2) ※貴法人の今年度における事業計画等をご記入ください。

事業計画書

平成27年4月1日から 28年3月31日まで

1 事業の趣旨・目的

設立の主旨は障がい者にパソコンを使った活動と働く事と支援する事業です、今年度は、就労継続支援A型事業所を継続発展するための事業展開を図ります。ボランティアの活動については支援機器やそのノウハウを生かせる人材の育成を図ります。これらの活動を多くの人や団体と共に協働して発展させ、また知ってもらう為のイベントの開催や参加、そして広報に力を入れます。

2 事業の実施に関する事項

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	対象者の範囲・人数	支出額(千円)
福祉の増進	就労継続支援A型事業の発展	全期間	木屋町と砥部の事務所	7名	23名	35,000
情報化社会の発展	共同受注窓口の事業拡大				多数	6,000
職業能力の開発	研修事業		県内各地		50 ~ 100名	2,000
	他団体や企業との共同事業の推進				多数	不明
	ボランティア事業				50 ~ 100名	300
	広報事業				多数	1,000
	会員交流事業				65名	100
	その他、本法人の必要な事業				不明	不明

平成27年度 特定非営利活動法人ふうしすてむ事業計画書

設立の主旨は障がい者にパソコンを使った活動と働く事と支援する事業です、今年度は、就労継続支援A型事業所を継続発展するための事業展開を図ります。ボランティアの活動については支援機器やそのノウハウを生かせる人材の育成を図ります。これらの活動を多くの人や団体と共に協働して発展させ、また知ってもらう為のイベントの開催や参加、そして広報に力を入れます。

1. 就労継続支援A型事業の継続展開

利用者のレベルアップを図り自活できる給料を目指す

松山市のテレワーク発注奨励金、発注促進税制、障害者優先調達推進法などを活用して受注量を増やす

2. 共同受注窓口の事業拡大を目指す。

えひめ ICT チャレンジド事業組合の参加団体と協力のもと事業展開を図り、また県内各地の共同受注の発展に協力する。

3. 研修事業

就労継続支援A型事業関係

従業員(支援員)の福祉関係の研修

利用者の技能レベルアップ研修

地域での研修事業

初心者向け講習会

特定の仕事に特化した研修会の開催

アビリンピックの全国大会や世界大会に出場できる人材の育成

共同受注窓口に参加の団体共同による利用者技術習得のための研修

4. 他団体や企業との共同事業の推進

研修や事業の共同開催

5. ボランティア事業

パソコンボランティアの育成と派遣

毎週月曜日にボランティアボックスの定期ミーティング・勉強会の開催

入力支援機器の調査研究、適切な支援機器をアドバイスできるスタッフの育成

毎月第2水曜日に「パソコン何でも相談会」を開催

発達障がい児向けのIT講習会を開催

県内のNPO、市民活動団体向けにリユースパソコン寄贈プログラムを実施

6. 広報事業

会報「つむぐ」を季節ごとに発行する

各種行政、各種団体の実施するイベントに参加する

メーリングリストによる情報交換等を活発に行う

チラシ・ポスター・冊子の作成と配布

ホームページで活動報告やイベント告知などを行う

7. 会員交流事業

会員の親睦のため交流会などを開催する

* 8. その他、本法人の目的を達成するために必要な事業

他の障がい者施設や同じ目的で活動している団体との共同事業

(別紙3) ※貴法人の今年度における収支予算をご記入ください。

収 支 予 算 書

1 収入の部

区 分	予 算 額 (円)	摘 要
受取会費	200,000	
受取寄付金	5,000,000	
事業収益		
自主事業	13,000,000	
受託事業	34,000,000	
計	52,200,000	

2 支出の部

区 分	予 算 額 (円)	摘 要
○ 人件費	29,200,000	
売上原価	6,300,000	
○ 業務委託費	2,500,000	
○ 旅費交通費	3,500,000	
地代・家賃	4,000,000	
減価償却費	470,000	
役員報酬	4,800,000	
○ 消耗品	600,000	
修繕費	400,000	
○ 雑費	430,000	
計	52,200,000	

※上記のうち、今回申し込む補助対象経費について、区分欄に○印を記載すること。

**平成27年度愛媛県NPO法人活動助成事業 【協働事業助成】
企 画 提 案 書**

平成27年 5月 22日

次のとおり、標記事業について、企画提案書を提出します。

申請者 (事業実施主体名)	法人名	特定非営利活動法人 ふうしすてむ
	・主たる協働事業者を3者まで記載してください。 ・「種別」は、ボランティア団体、企業、地縁団体(町内会・自治会等)、公益法人、社会福祉法人、協同組合、行政などの区分を記載してください。	
連携・ 協働者	(1)	団体名 ダンボクラブ (種別) ボランティア団体 住 所 代表者 連絡先 Tel. E-mail:
	(2)	団体名 ライフサポートここはうす (種別) NPO 法人 住 所 代表者 連絡先 Tel. E-mail:
	(3)	団体名 えひめ心のつばさ (種別) ボランティア団体 住 所 代表者 連絡先 Tel. E-mail:
総事業費及び 希望する県補助金額	総 事 業 費	605,200 円 (うち希望補助金額 500,000 円)
事業概要	申請事業の概要を100~200字程度にまとめて記載してください。 事業の対象者は発達障害児者と家族 IT講習会の開催。 タブレットを使った自己管理セミナーの開催 就労向けのセミナーの開催。パソコンを使った仕事について。	
事業実施期間	平成27年 7月 から平成28年3月10日まで	

(事業計画等)

<p>1 事業の目的・目標</p>	<p>(1) 事業の背景となる地域の課題を記載してください。^(障) 就労の現場で発達障害とそれが原因と考えられる精神の人の相談が増えている。タブレットなどを使った、支援の有効性が報告されていて、開発が進んでいる。コミュニケーションが困難な方に向いている、在宅での ICT 系の就労向けの研修が必要。</p> <p>(2) 課題を解決するための提案事業との関連について記載してください。 パソコンを使って就労している姿を保護者や当事者に見てもらいながらセミナーをする。 自己管理の支援をするタブレットのセミナーの開催。 ボランティアとの交流や社会人とのイベントなどを開催し、対象者の溝を少なくする。</p> <p>(3) 事業の目標(期待される成果)を記載してください。 発達障害・引きこもり者のコミュニケーション能力のアップ " " " " の ICT 技術力アップにより自信を持って就労に向かうことができる。 10名の就労に向けた具体的な支援を目指したい。</p> <p>(4) 目標達成のために工夫する点を記載してください。 支援団体間の情報交換の場としたい。 パソコンの好きな方が多く、具体的なパソコンを使った仕事についてのセミナーを開催したい。 一般の人とのコミュニケーションが苦手な人が多い、ボランティアとの交流の場を設けたい。</p>
<p>2 役割分担 (事業実施体制)</p>	<p>協働事業者との役割分担(具体的な連携内容)について記載してください。 ふうしすてむ: ICT 技術と機器の支援、就労についての情報提供 つばさ: 引きこもり者の情報と支援の方法について。 ダンボクラブ: 発達障害についての情報と、児者への支援 ここはうす: 発達障害児の支援について 他の発達障害者へ支援をしている団体: 18歳以上や就労後への支援として必要</p>
<p>3 事業スケジュール</p>	<p>事業の進め方、段取り等が分かるように、いつ、どのような活動を行うのか、スケジュールを具体的に記載してください。(※別紙添付でも結構です。)</p> <p>8-9月 参加団体と打ち合わせ、事業の進め方の検討 10月 事業の具体化とスケジュール立案 11~2月 パソコン講習開催 タブレット使用による支援セミナー開催 就労に向けて心構えなどのセミナー開催 パソコンを使った仕事の説明会 3月 事業のまとめと清算</p>
<p>4 事業終了後の展開</p>	<p>助成事業が終了した後、どのように活動(協働)を継続していくのかを記載してください。 参加団体間の支援や協力、情報交換の場を継続する。 お互いの専門分野を生かした協力関係を継続したい。</p>

(法人名 ぼうしすてむ)

事業収支計画書

1 収入の部

区 分	予 算 額 (円)	摘 要
助成金	500,000	
寄付・自己資金	60,200	
受講料	45,000	¥500 6人 15日間
収 入 計	605,200	

2 支出の部

区 分	予 算 額 (円)	摘 要
人件費	210,000	@¥700/時間 6時間 2人 25日間
謝金	120,000	@¥15,000 8人
備品	105,000	タブレット@¥35,000 3台
パソコンレンタル	112,500	@¥1,500/台 5台/日 15日
印刷	5,000	チラシ・ポスター
交通費	52,700	今治10回 JR @¥1,470、 自家用車 3,800
支 出 計	605,200	

※ 申請しようとする事業に係る収支計画（見込）を記載してください。
* 法人全体の事業計画ではないのでご注意ください。